

あの人この人



職場でフルートを奏でる長岡さん

橋義歯を作り続け、まもなく半世紀

長岡光男さん（小神明町）

取材のために歯科技工士である長岡光男さんの職場「長岡デンタルクラフト」を訪ねてみました。長岡さんは昭和23年に旧富士見村横室で生まれ、東京医科歯科大学の技工士科を卒業した後、横須賀市で既に歯科技工士として働く実兄の下で仕事を始めました。まもなくして、小神明町に住む長岡次男さんの長女である妙子さんと結婚、次男さんの養子となりました。5年間横須賀で暮らした後、妙子さんの実家へ引っ越し、以後40年以上の歴史を刻んできた職場です。

前橋へ移ってから、しばらくの間は地元の歯科医院に対しての営業活動で、非常に苦労したとのことでした。短納期の仕事から始まり、特殊な義歯等・、市外や隣の埼玉県まで営業活動が広がっていきました。その後、実績を積みと共に得意先が増えて、仕事も安定する様になりました。朝9時から始めるが終わりが定まらず、時には夜中の2時や3時まで続く事が多々あったとのことでした。

長岡さんの職場は常にひとり、孤独な一人作業です。そんな環境を癒してくれるひとつが音楽です。自らもフルート演奏を楽しんでいます。中学校時代に吹奏楽部でフルートを担当したのが始まりで、以後は独学で腕を磨き、現在モーツァルトのフルート協奏曲1番と2番を練習中だそうです。もう一つは尺八の演奏です。都山流の長岡雲聲（うんせい）という竹号を受けている腕前です。一方で多くの趣味を持っていきます。①骨董品である手回し式の蓄音機を収集・修理して昔懐かしいSPレコードを再生して音楽を楽しむ事。②オーディオマニアとして、真空管アンプやオープンリール式のデッキを購入し、その音を楽しむ事。③アマチュア無線を楽しむ、2級&1級の免許を取得している事。④子供の頃から竹細工が好きで、30部屋・40部屋の複雑で立体的な虫かごのマンシヨン（前橋市民展に出品）や、竹トンボ・ブンブンコマ等を作る事。⑤自宅で写真の現像や焼き付け・引き伸ばしを行う事。⑥初代からのフェアレディYZマニユアである事。およそ10年前に買い替えた3台目のフェアレディZは、今でも静かに車庫に保管されています。

長岡さんの子供たちは既に独立し、仕事の後継者は望めません。得意先である歯科医院も世代が変わりつつありますが、体力の続く限り今の仕事を続けていきたいと語ってくれました。ちなみに妙子さんの実家は、白黒写真のロールフィルム開発者である長岡菊三郎氏の生誕地でもあります。

文責 小神明町生涯学習奨励員

牧野 進

※次回から令和元年度に芳賀地区生涯学習奨励員で研究発表した「芳賀の水物語」を3回シリーズでお送りします。あらかじめご了承ください。
生涯学習奨励員連絡協議会 会長 中山洋子

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたらしく入った本の紹介

一般書

稚児桜

騒がしい楽園

まずはこれ食べて

デッドライン

ターシャ・テューダーを撮る喜び

リチャード・メイブラウン／写真・文

いいことだけ考える 市原悦子のことば

沢部ひとみ

著者名

澤田 瞳子

中山 七里

原田 ひ香

千葉 雅也

児童書・絵本

かいけつゾロリスターたんじょう

おぼけのアッチおもちでおめでとう

なかなかおりの魔法

（トウトウルとふしぎな友だち「2」）

ミオととなりのマーメイド 6

飛行機のサバイバル 2

きみがいないと

なんだろうなんだろう

（ほかにもたくさん新刊が入りました）

★木曜休館（土日祝日は10時～17時開館）